

We support the **ilc**

希望の ひかり

第64回

ILC（国際リニアコライダー）計画の各種
最新情報をお届けします

一歩前進！

ILC次なるステージへ！

3月7日に東京都内で開催された国際会議において、文部科学省の磯谷桂介研究振興局長は、次のとおり文部科学省見解を示しました。文部科学省がILC計画に関心を示したのは初めてのことであり、前向きな一歩を踏み出したものと捉えています。

文部科学省の見解【要旨】

▼日本学術会議の所見を踏まえ、現時点で日本誘致の表明には至らないが、国内の科学コミュニティの理解・指示を得られるかどうかも含め、正式な学術プロセス（日本学術会議が策定する

マスタープランなど）で議論することが必要である

▼国外においても、欧州素粒子物理戦略などにおける議論の進捗を注視する

▼ILC計画については、日本学術会議の所見で課題などが指摘されている一方、素粒子物理学におけるヒッグス粒子の精密測定的重要性に関する一定の学術的意義を有する。ILC計画が

もたらす技術的研究の推進や立地地域への効果の可能性に鑑み、文部科学省はILC計画に関心を持って国際的な意見交換を継続する

また、同日開催された国際研究者組織（ICFA※）の記者会見では、文部科学省の

見解について「正式な学術プロセスを経る必要があるが、日本に誘致してほしい」と述べるとともに、候補地についても「北上高地が唯一の候補地」とし、ILCの日本実現に期待を寄せました。

※ICFA：国際将来加速器委員会。世界の主要加速器研究所の代表者らで構成される

◀ICFA記者会見のバシリックビューイングを見守る市ILC推進連絡協議会員ら（市役所市民ホール）



市議連 ILC看板設置(水沢中) ～ともに～

市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟（渡辺忠会長）は、ILC誘致への機運醸成と普及啓発を図るため、市内中学校作成イラストによるPR看板の設置を進めています。

本年度3カ所目の完成となった水沢中学校（佐藤健司校長）の看板には、本市の誇る三偉人や特産品などがあしらわれています。看板タイトルの「ともに」は、同校生徒会スローガンであるとともに、「ILCとともに歩む」という同校の意思が感じられます。看板の原画を描いた同校美術部の草野真央さん（3年）と小野笑さん（3年）は、「世界にたったひとつの国際研究所ができて、宇宙の謎が地元で解き明かされるのは楽しみ」と夢を膨らませました。また、佐藤郁夫副会長は「ILC誘致はいよいよ正念場。何としても誘致する」と力を込めました。



◀2月1日、水沢中美術部（3年生）と市ILC議連役員の皆さん

本市では、長年にわたり講演会や出前授業などの普及啓発活動を行うとともに、東北ILC推進協議会や県をはじめとした関係団体と連携し、産学官民が一体となった要望活動などを幾重にもわたり実施してきました。

このたび、文部科学省がILC計画に関心を示したことで、国際的な検討が進み、ILC実現に向け進展することを見込んでいます。

本コーナーでは、ILC計画について皆さんからの質問にお答えします。電子メール、ファクスでお気軽に質問ください。
■問い合わせ先 本庁 ILC推進室（内線1442） E-mail: ilc@city.osu.nvate.jp